

表装の

特別展 Delightful Hyouso
-Traditional mounting style of
Japanese paintings

愉しみ

ある表具師の
ものがたり

2023
11/3
金・祝
—
12/10
日

同時開催：青銅器館「中国青銅器の時代」

休館日 | 月曜日

開館時間 | 午前10時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

主催 | 公益財団法人泉屋博古館、京都新聞
後援 | 京都市、京都市教育委員会、京博連、
公益社団法人京都市観光協会、NHK京都放送局

泉屋博古館

三會龍華未爾當
長街短巷忘祥狂
市裏裏許乾坤大
柱文頭過日月長
兜赤陀天乾屎飯
泥盧梅閣水雲鄉
有言我是真弥勒
家醜無端向外揚
玉几 正印祥貴



表装の Delightful Hyousou 特別展 Traditional mounting style of Japanese paintings 愉しみ

入館料

一般 800円(640円)

高大生 600円(480円)

中学生以下無料

○本展覧会の入場料で青銅館もご覧いただけます
○()内は20名以上団体料金、障がい者手帳
ご提示の方は介添者一名まで無料

会期中の催し

すべて入館料のみでご参加いただけます。

会場は当館講堂。定員50名。

予約制(受付開始10月12日(木) 午前11時

電話075-771-6411 または当館HPにて)

講演会

「大阪の表具師井口古今堂

—コレクターや画家との関わり—

11月25日(土) 午後2時~3時

徳山亜希子氏(新見美術館学芸員)

講座

「表具師と施主の愉しい関係

—井口邨僊と住友春翠—

11月11日(土) 午後2時~3時

実方葉子(当館学芸部長)

スライド・トーク+

展覧会のみどころのご紹介(30分)

+掛軸の掛け方しまい方

11月22日(水)・12月2日(土)

各回午後2時~3時

実方葉子(同上)

アクセス

京都市バス

●JR・新幹線・近鉄電車「京都駅」/
京阪電車「三条駅」から5系統

●阪急電車「烏丸駅」から32、203系統

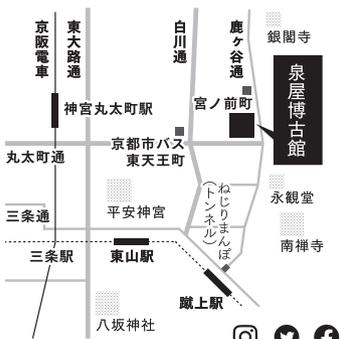
●地下鉄烏丸線「丸太町駅」から93、204系統

○5、93、203、204系統「東天王町」下車、
東へ徒歩200メートル

○32系統「宮ノ前町」下車すぐ

地下鉄

●東西線「蹴上駅」から徒歩約20分



泉屋博古館

〒606-8431

京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24

Tel. 075-771-6411

https://www.sen-oku.or.jp/kyoto

表面:(上段左より)伝岡次平 秋野牧牛図 中国・南宋時代 国宝/寸松庵色紙「ゆふつくよ」平安時代/黙庵霊淵 布袋図 南北朝時代 重要文化財/(下段左より)佐竹本三十六歌仙絵切 源信明 鎌倉時代 重要文化財/上田耕南 白鶴図 大正3年(1914)



酒井抱一
椿時絵巻書状
江戸時代

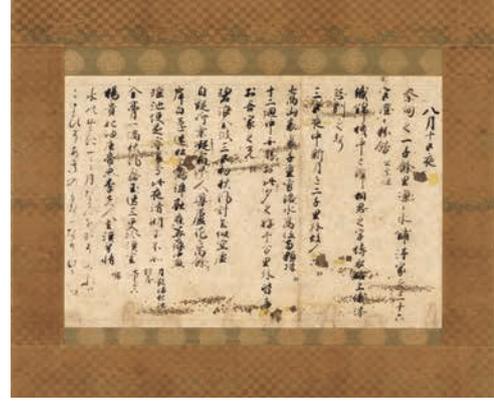


ゆかりの君の衣を表具に

伝長谷川久藏
祇園祭礼図
江戸時代

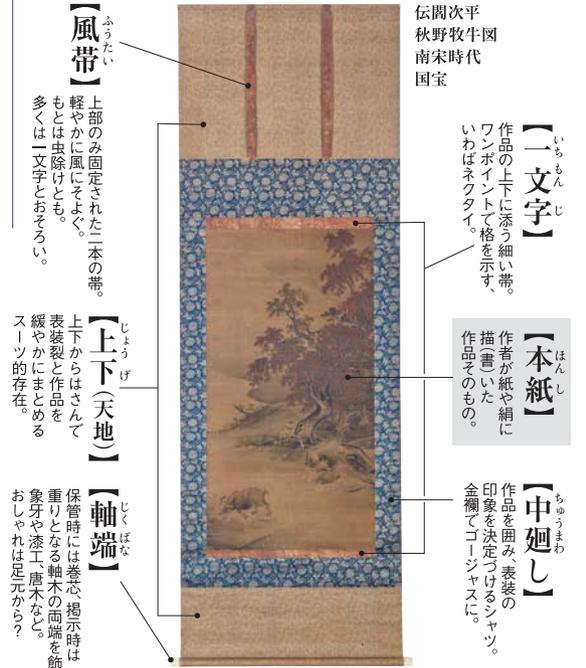
江戸の粋を伝える
刷り物の表装

月の詩を
ぐるりと囲む
兎の文様



藤原伊行 和漢朗詠集断簡(戊辰切)「八月十五夜」平安時代

掛軸表装のみどころ



【風帯】
上部のみ固定された二本の帯。
軽やかに風にそよぐ。
もとは虫除けとも。
多くは一文字とおそろい。

【上下(天地)】
上下からはさんて
表装裂と作品を
緩やかにまとめる
スーツ的存在。

【軸端】
保管時には巻芯、揭示時は
重りとなる軸木の両端を飾る。
象牙や漆工、唐木など。
おしやれば足元から?

伝岡次平
秋野牧牛図
南宋時代
国宝

【一文字】
作品の上下に添う細い帯。
ワンプイントで格を示す。
いわばネクタイ。

【本紙】
作者が紙や絹に
描画した
作品そのもの。

【中廻し】
作品を囲み表装の
印象を決定づけるシャツ。
全編でゴージャスに。

掛軸、巻物、屏風——東アジア独自の書画芸術の形式である「表装」。そこには保存・管理から装飾・演出まで、さまざまな知恵と美意識が凝縮されています。表装の取り合わせの数々は、所蔵者がその作品をどう見ていたか、どう見せたかったかをも伝えるもうひとつの美術史ともいえるでしょう。本展では当館所蔵の住友コレクションより、通常脇役とされる書画の表装にスポットをあて、その多彩な展開を紹介、そこにこめられた思いをさぐります。また表装の仕立や修理のほか、インテリアデザイナー、作家との仲介役など表具師の多岐にわたる活動を、住友家15代春翠と井口邨僊の交流を例にとります。

ある表具師のものがたり —井口邨僊と住友春翠

大正八年(一九一九)、
巻物から分割された
歌仙絵の名品・佐竹本の
断簡を入手した

住友春翠(二八四一~一九二六)は、
信頼を寄せる大阪の表具師
井口邨僊(二八六七~一九四二)に
表装をゆだねました。

作品の本質や春翠の好みを
深く理解した仕上がりで、
ふたりにとって
会心の一幅となりました。

邨僊は書画表装のほか、
春翠が明治末以降、
各地に築いた邸宅の襖など
内装も幅広く手がけました。

また、邨僊を慕い集う
大阪画壇の画家のなかから、
実力者を見いだしては
春翠に紹介し、
その時代の芸術振興に
寄与したことも
見逃せません。

温厚で芸術や文芸に
通じた邨僊に
春翠は打ち解け、
時に絵を合作するなど
心通せたといえます。



住友家茶臼山本邸
建具図面
大正時代
(住友史料館蔵)



井口邨僊、
山田秋坪、
渡邊花仙画
白磁四君子画花瓶
大正時代



山田秋坪
拓榴花白鸚鵡図
大正9年(1920)



上島嵐山
十二ヶ月美人より一月子の日
明治42年(1909)



佐竹本三十六歌仙絵切
源信明
鎌倉時代
重要文化財

当館は改修のため来年休館いたします。
2025年春、大阪・関西万博とともに
再スタートの予定です。

関西9館 連携

「茶碗」をめぐる
関西の美術館・博物館が
緩やかにつながります



特別展示
黄天目銘燕
元~明時代

入館料の 相互割引

京都国立博物館、野村美術館、中之島香雪美術館、樂美術館、
北村美術館、湯木美術館、逸翁美術館、滴翠美術館、泉屋博古館
詳細は各館HPなどにてご確認ください。